

# 12月定例会の概要

12月定例会は、12月5日から21日まで17日間の会期で行われました。

提出された議案は、一般会計補正予算など20件と、議員発案の意見書3件のほか継続審査となっていた平成18年度一般会計決算及び特別会計決算の認定1件で、審議の結果、すべての議案を可決しました。

また、請願陳情は1件を採択、1件を一部採択、3件を不採択、1件を継続審査としました。(詳しくは14ページ)

## 主な単行議案

### ◆市役所の組織が変わります。

4月1日から、建設部と上下水道部は統合し、都市整備部となり、国体室は廃止になります。また、企画市民部は企画部に、福祉保健部は市民福祉部となります。

### ◆旧ねむの木学園の建物や備品を社会福祉法人能代ふくし会へ無償で譲渡します。

◆市の基本構想を定めました。  
平成29年度までの10年間を計画期間とし、まちづくりの将来像と方向性を示す能代市の基本構想を定めました。  
基本構想では、「人が輝くまち能

代市民の“和”」「たくましく元気なまち 環境で活力を生み出す”環”」「安心して暮らせるまち 未来へつながる”輪”」を基本理念に市の将来像を「わ”のまち能代」としました。また、3つの基本目標を掲げ、関わり大きい各分野の方向性を政策として示しています。

### ◆3月1日から常盤診療所は常盤保育所内に移転します。

◆4月1日から、保健センターで新たに生活習慣病を早期発見・改善する特定健康診査を実施するため、受託料金を定めました。  
・ 特定健康診査 5100円  
(医療保険者負担)  
※健康増進法に基づく健康診査 1890円↓2100円  
(受診者負担)

### ◆指定管理者を指定しました。

【養護老人ホーム「松籟荘」・緑町デイサービスセンター・緑町グループホーム】  
【東デイサービスセンター】  
【能代ふれあいデイサービスセンター】  
指定管理者 社会福祉法人 能代市  
社会福祉協議会  
会長 越後 鐵雄  
指定期間 H20・4・1～H25・3・31まで

### 【老人憩の家「白瀟亭」】

指定管理者 東北ビル管財株式会社  
代表取締役 五十嵐 弘悦

指定期間

H20・4・1～H23・3・31まで

【能代工業団地交流会館】

指定管理者 有限会社やま久

代表取締役 山谷 久信

指定期間

H20・4・1～H23・3・31まで

## 一般会計補正予算

補正予算(第6号)は、3210万円の減額、補正予算(第7号)は、1490万円の追加で、予算総額は241億2224万7000円となりました。

### 補正予算の主な内容・事業など

◆9月の豪雨災害義援金をり災者へ支給します。 4048万円  
家屋の床上浸水以上の被害に遭った181世帯に対し、見舞金を支給します。

◆9月の豪雨災害で被災した農地等の復旧費に補助します。 299万3千円  
被害に遭った農地・施設等の復旧費やへい死した比内地鶏の処理費用等に補助します。

◆地上デジタル放送の電波障害について調査します。 168万7千円  
市内にある福祉・教育施設の6カ所で電波障害の状況を調査します。

◆高齢者世帯等に灯油購入費として1世帯当たり4000円を助成します。 1490万円  
70歳以上の高齢者世帯、児童扶養手当受給世帯及び障害者世帯で助成要件を満たした世帯に、灯油購入費用の一部として助成します。

### 平成18年度能代市一般会計決算及び特別会計決算の認定について

11月6日に13名の委員からなる決算特別委員会で審査し、本会議において賛成多数(賛成25人、反対2人)で認定しました。  
審査内容は11ページをご覧ください。

### その他可決された議案

- 物品の取得について
- 下水道事業特別会計補正予算
- 常盤財産区特別会計補正予算
- 国民健康保険特別会計補正予算
- 介護保険特別会計補正予算
- 水道事業会計補正予算

## 人事案件

人権擁護委員候補者の推薦及び常盤財産区管理委員の選任に同意しました。

・人権擁護委員 河井 健(新任)

・常盤財産区管理委員 山崎 光男(新任)

※敬称は省略させていただきました。